

その他 無脊椎動物



(1) レッドリスト種（その他無脊椎動物）の概要

レッドリスト種に選定したその他無脊椎動物は、14 種でした。表 4-10 にカテゴリーごとの種数・概要を示します。

レッドリスト種に選定した種は、河川・水辺や山地帯に生息する貝類が多い傾向でした。

表 4-10 その他無脊椎動物レッドリスト種の概要

レッドリストカテゴリー	種数	選定した種の概要
絶滅 (EX)	0	・絶滅に該当する種は選定されませんでした。
野生絶滅 (EW)	0	・野生絶滅に該当する種は選定されませんでした。
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	1	・河川・水辺に生息する甲殻類のモクズガニを選定しました。
絶滅危惧 II 類 (VU)	1	・河川・水辺に生息する貝類のマルタニシを選定しました。
準絶滅危惧 (NT)	11	・山地帯に生息する貝類のクロイワマイマイや、河川・水辺に生息する貝類のモノアラガイ等を選定しました。
情報不足 (DD)	1	・河川・水辺に生息するヒラマキミズマイマイを選定しました。

(2) 危惧される減少要因

レッドリスト種の減少要因としては、河川開発や水質汚濁による生息環境の減少や悪化等が挙げられます。

これらの無脊椎動物の多くは、実際に目にする機会が少ないため、その状況を把握することが特に難しいのが実状です。

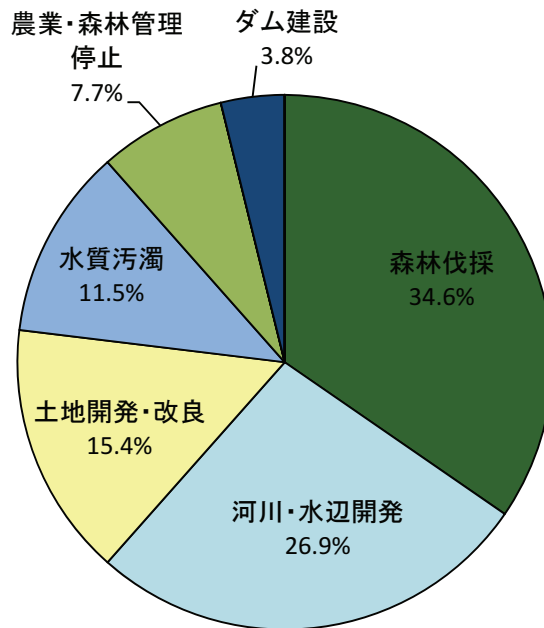


図 4-8 その他無脊椎動物レッドリスト種の減少要因の割合

モクズガニ (エビ目 イワガニ科)

Eriocheir japonicus

安曇野市：絶滅危惧Ⅰ類

長野県： —

—

CR+EN

環境省： —

—



●特徴：甲羅幅約 50mm。甲羅は縦に長い 6 角形で、濃い緑がかった色です。腹部は白色です。昆虫類、魚類、貝類などを食べます。

●生息環境：成体は河川に生息します。幼生は海で育った後、川を遡上しながら成長します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。

●市内の分布：信濃川水系にダムが設置されるまでは、時折確認されていましたが。ダムができた後の記録は少なく、明科の犀川では、平成 10 年に 10 年以上生きたと考えられる個体が確認されています。

●減少要因：河川へのダムの設置により、海から上がって来ることは困難になっています。

生息環境



参考文献 No. 4, 59

マルタニシ (ニナ目 タニシ科)

Cipangopaludina chinensis laeta

安曇野市：絶滅危惧Ⅱ類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

VU



●特徴：殻高約 60mm。全体的に丸みのある形をしています。タニシという名で、昔から食用として親しまれてきました。

●生息環境：水田や湖や池沼に生息します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。

●市内の分布：山麓部の水田や池沼に生息しています。

●減少要因：水田の耕作放棄や、農薬による水質の汚濁などの生息環境の悪化や減少が考えられます。

生息環境



耕作地



参考文献 No. 4

ヒダゴマガイ (ニナ目 ゴマガイ科)

Semisulcospira libertina

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧Ⅱ類

VU

NT

環境省： —

—



●特徴：殻高約 3.5mm、殻径約 1.7mm。7 層の長卵形をしています。

●生息環境：森林に生息します。地上の落ち葉や石の間を好みます。

●国内の分布：長野県と岐阜県に分布します。

●市内の分布：穂高と堀金の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。

生息環境



森林



参考文献 No. 147

モノアラガイ (モノアラガイ目 モノアラガイ科)

Radix auricularia japonica



生息環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：殻高約 20mm。殻は薄く、やや黄色味のある茶色をしています。

●生息環境：河川、湖や池沼、用水路に生息します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。

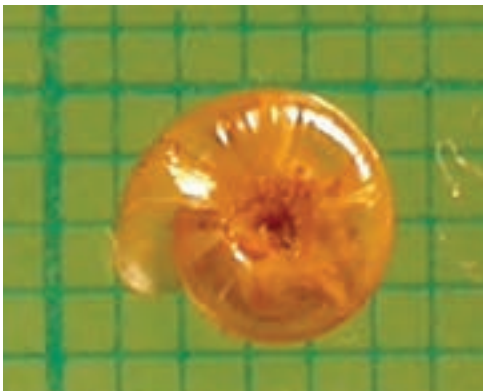
●市内の分布：明科の犀川で確認されています。

●減少要因：河川開発や用水路のコンクリート化などにより、生息環境の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 49, 51, 59, 61

ヒラマキガイモドキ (モノアラガイ目 ヒラマキガイ科)

Polypylis hemisphaerula



生息環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：殻径 4～5mm。殻は半透明で光沢があり、黄白色や淡い茶褐色です。また、殻には藻類や鉄分が付着していることがよくあります。

●生息環境：水田、用水路、湿地などに生息します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。

●市内の分布：三郷の水田で確認されています。

●減少要因：水田の耕作放棄や、水路のコンクリート化、農薬による水質汚濁などによる、生息環境の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 52, 147

ケシガイ (オオカミガイ目 ケシガイ科)

Carychium pessimum



生息環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：殻高約 2.3mm、殻径約 0.8mm。殻は4層です。

●生息環境：森林に生息します。地上の落ち葉や石の間を好みます。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。

●市内の分布：穂高と堀金の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 147

スカシベッコウ (マイマイ目 ベッコウマイマイ科)

Bekkoclamys serenus

安曇野市：準絶滅危惧	長野県： —	—
NT	環境省：準絶滅危惧	NT



生息環境



●特徴：殻高約 3.3mm、殻径約 7mm。殻は薄く、半透明です。

●生息環境：森林に生息します。地上の落ち葉の下を好みます。

●国内の分布：本州に分布します。

●市内の分布：三郷・明科の山地帯で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 145, 147

ヒゼンキビ (マイマイ目 ベッコウマイマイ科)

Parakaliella hizenensis

安曇野市：準絶滅危惧	長野県： —	—
NT	環境省：準絶滅危惧	NT



生息環境



●特徴：殻高約 2.5mm。殻の表面は粗いです。

●生息環境：森林に生息します。地上の落ち葉の下を好みます。

●国内の分布：本州から九州に分布します。

●市内の分布：豊科の山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 147

ヒメハリマキビ (マイマイ目 ベッコウマイマイ科)

Parakaliella pagoduloides

安曇野市：準絶滅危惧	長野県： —	—
NT	環境省：準絶滅危惧	NT



生息環境



●特徴：殻高約 3mm、殻径約 2mm。殻は淡い黄褐色です。

●生息環境：森林に生息します。

●国内の分布：本州、四国に分布します。

●市内の分布：豊科、穂高の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 147

オオウエキビ (マイマイ目 ベッコウマイマイ科)

Trochochlamys fraterna

安曇野市：準絶滅危惧	長野県： —	—
NT	環境省：情報不足	DD



●特徴：殻高約 3mm、殻径約 2mm。殻は淡い黄褐色で、円みのある円錐形です。

●生息環境：森林に生息します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。

●市内の分布：三郷の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。



参考文献 No.	52, 147
----------	---------

カワナビロウドマイマイ (マイマイ目 ニッポンマイマイ科)

Nipponochloritis kawanai

安曇野市：準絶滅危惧	長野県：絶滅危惧Ⅱ類	VU
NT	環境省：準絶滅危惧	NT



●特徴：殻高約 13mm、殻径約 18mm。殻は淡い褐色で、球状に近い形をしています。

●生息環境：森林に生息します。地上の倒木の下や、岩の間などの湿度の高い場所を好みます。

●国内の分布：本州に分布します。

●市内の分布：三郷の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。



参考文献 No.	-
----------	---

コシタカコベソマイマイ (マイマイ目 ニッポンマイマイ科)

Satsuma fusca

安曇野市：準絶滅危惧	長野県： —	—
NT	環境省：準絶滅危惧	NT



●特徴：殻高 29~40mm、殻径 34~44mm。殻は赤褐色や淡い黄褐色です。

●生息環境：森林に生息します。

●国内の分布：本州に分布します。

●市内の分布：三郷の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。



参考文献 No.	52, 147
----------	---------

クロイワマイマイ (マイマイ目 オナジマイマイ科)

Euhadra senckenbergiana senckenbergiana

安曇野市：準絶滅危惧	長野県： —	—
NT	環境省： —	—



●特徴：殻高約 33mm、殻径は約 60mm。殻は濃い紫褐色をしています。

●生息環境：森林に生息します。

●国内の分布：本州中部に分布します。

●市内の分布：三郷と堀金の山麓部・平野部から山地帯の森林で確認されています。

●減少要因：森林伐採などによる生息環境の悪化や減少が考えられます。



参考文献 No.	52, 147
----------	---------

ヒラマキミズマイマイ (モノアラガイ目 ヒラマキガイ科)

Gyraulus chinensis spirillus

安曇野市：情報不足	長野県： —	—
DD	環境省：情報不足	DD



●特徴：殻径約 5mm。殻は半透明で、灰褐色や黄褐色を帯びています。

●生息環境：水田、湖や池沼に生息します。

●国内の分布：北海道から沖縄に分布します。

●市内の分布：明科の前川などで記録があります。市内の水田や用水路、小河川などに生息していると考えられます。

●減少要因：河川開発や用水路のコンクリート化、農業による水質汚濁などによる生息環境の減少が考えられます。



参考文献 No.	4, 51, 52, 59, 61, 147
----------	------------------------